

## 第24回関西広域連合委員会の概要

平成24年8月27日  
関西広域連合本部

- 日時：平成24年8月23日（木） 11：15～12：25
- 場所：とりぎん文化会館 2階 小ホール
- 出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、松井委員、平井委員、飯泉委員、門川委員、橋下委員、竹山委員、矢田委員、山内副委員

### ○議事概要

#### 1 協議事項

##### ① 政令市（京都市・神戸市）の加入について

- ・京都市が広域観光・文化振興の副担当に、神戸市が広域防災の副担当になることを決定した。（8月23日付）
- ・あわせて9月1日付けで京都市及び神戸市から本部事務局への派遣（各1名）、各分野事務局への併任による体制整備を行うこととした。

##### ② 国出先機関対策について

- ・「国の特定地方行政機関の事務等の移譲に関する法律案」の早期国会提出を求める声明を発出した。
- ・9月17日に近畿市長会、町村会長会と意見交換会を行うことを発表した。

##### ③ 広域計画の改定について

- ・広域計画の見直しについて、この9月から改定作業に着手することとした。

##### ④ 関西広域連合規約の改正について（検討案）

- ・ドクヘリの経費負担団体の追加等に係る規約改正案について、構成団体の12月議会提案に向け、詳細を検討することとした。

##### ⑤ 新たな取組みの検討について（平成25年度予算編成に向けて）

- ・平成25年度予算編成に向け、分野別計画や平成24年度予算編成を踏まえた新たな事業展開等について検討することとした。

##### ⑥ 広域連合議会8月定例会提出議案について

- ・連合議会8月定例会提出議案について、原案どおり決定した。

##### ⑦ 関西における中長期的なエネルギー政策について

- ・「関西における中長期的なエネルギー政策」について、平成24年中にとりまとめを想定していたが、国のエネルギー基本計画を踏まえる必要があり、今年度は方向性の論点骨子を整理し、来年度、検討をさらに深めていくこととした。
- ・「今後のエネルギー政策の確立に向けた声明」について、今夏の電力需給の検証や、関西電力大飯原発3、4号機の再審査を求める声明を発出した。
- ・上記声明の議論の中で、節電要請期間終了後に大飯原子力発電所3、4号機の停止を求めるべきとの意見もあったが、声明文等を出すかについては、国の対応も見ながら9月以降改めて、検討することとした。

##### ⑧ 東日本大震災災害廃棄物の広域処理について

- ・可燃物の広域処理については、環境省の通知を受け、検討を中止することとした。なお、不燃物については、今後の状況を見定めることとした。

#### 2 報告事項

##### ① 韓国トッププロモーションの実施結果等

- ・山内副委員より、韓国トッププロモーションの実施結果、中国トッププロモーションの実施予定について報告があった。
- ・「KANSAI 国際観光 YEAR2013 実行委員会」を8月22日に開催（設立）した旨報告があった。

##### ② 今夏の節電対策（電力需給状況・節電対策の進捗状況）

- ・嘉田委員から、節電期間開始後の電力需要において、最大電力（14～15時）が平成22年夏に比べて約11%（約310万kW）減少したなどの報告があった。

##### ③ 議会の指摘に対する対応状況

- ・井戸連合長から、広域連合議会からの指摘状況について報告があった。（資料提供）